

入 札 心 得

(総則)

第1条 一般社団法人全国肉用牛振興基金協会会長（以下「会長」という。）の契約に係る「精液等情報システムの調査等業務」に関する入札については、法令その他に定めるもののほか、この心得によるものとする。

(入札等)

第2条 入札参加者は、あらかじめ入札公告、仕様書、契約書（案）等を熟知の上、入札しなければならない。この場合において、入札公告、仕様書、契約書（案）等について疑義があるときは、関係職員に説明を求めることができる。

- 2 入札参加者は、入札書（別紙様式第1号）を作成し、直接に又は郵便で提出しなければならない。
- 3 直接入札を行う場合は、公告に示した時間までに入札金額が見えないよう作成した入札書を四つ折りにするか、封筒に入れて提出期限までに入札箱に投函する。
- 4 郵便入札を行う場合は、二重封筒とし、入札書の中封筒に入れ、封かんのうえ、入札者の氏名、入札件名及び開札日時を表記し、表封筒に入札書在中の旨朱書きし、公告で示した時刻までに配達証明ができる書留等により郵送する。
- 5 入札参加者は、一旦提出した入札書は、開封の前後を問わずその引き換え、変更又は取り消しをすることができない。
- 6 入札参加者は、代理人によって入札する場合には、その入札の前に代理人の資格を示す委任状（別紙様式第2号）を入札担当職員に提出するものとし、入札書には代理人の表示をしなければならない。郵便入札において、代理人をして入札させるときは、委任状を入札書を入れた表封筒に封かんのうえ、送付すること。
- 7 入札参加者又は入札参加者の代理人は、当該入札に対する他の入札参加者の代理をすることはできない。
- 8 入札参加者は、入札時刻を過ぎたときは、入札することができない。
- 9 入札参加者は、暴力団排除に関する誓約事項（別紙様式第3号）について入札前に確認しなければならない。入札書の提出をもってこれに同意したものとする。

(公正な入札の確保)

- 第3条 入札参加者は、私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律（昭和22年法律第54号）等に抵触する行為を行ってはならない。
- 2 入札参加者は、入札に当たっては、競争を制限する目的で他の入札参加者と入札価格又は入札意思についていかなる相談も行わず、独自に入札価格を定めなければ

ならない。

- 3 入札参加者は、落札決定前に、他の入札参加者に対して入札価格を意図的に開示してはならない。

(入札の取りやめ等)

第4条 入札参加者が連合し、又は不穩の行動をする等の場合において、入札を公正に執行することができないと認められるときは、当該入札参加者を入札に参加させず、又は入札の執行を延期し、若しくは取りやめることがある。

(無効の入札)

第5条 次の各号の一に該当する入札は、無効とする。

- (1) 競争に参加する資格を有しない者のした入札
- (2) 委任状を持参しない代理人のした入札
- (3) 記名押印のない入札
- (4) 金額を訂正した入札
- (5) 入札に付される事項名又は入札金額の確認し難い入札
- (6) 同一の入札について他人の代理を兼ね、又は2人以上の代理をした入札
- (7) 暴力団排除に係る誓約事項について、虚偽又はこれに反する行為が認められた入札
- (8) その他入札に関する条件に違反した入札

(再度入札)

第6条 開札の結果、予定価格の制限に達した価格の入札がないときは、直ちに再度の入札を行うことがある。この場合第1回目の最低入札価格を上回る価格で入札した者の入札は無効とし、当該入札に係る第2回目以降の入札参加者の資格を失うものとする。第3回目以降に行う入札についても上記を準用して行うものとする。

- 2 前項の入札を行ってもなお落札者がいない場合は、当該入札を打ち切ることができる。
- 3 第1項の入札には、前条に規定する無効の入札をした者は参加することができない。

(落札者の決定)

第7条 予定価格の制限の範囲内で、入札説明書で示す要求事項のうち必須項目の最低限の要求をすべて満たしている提案をした入札者の中から、総合評価の方法をもって有効な入札をした者を落札者とする。

(同価格の入札)

第8条 落札となるべき同総合評価点の入札者が2人以上あるときは、直ちに当該入札をした者にくじを引かせて落札者を定める。

- 2 前項の場合において、当該入札をした者のうちくじを引かない者があるときは、これに代わって入札事務に関係のない職員にくじを引かせるものとする。

(契約書の提出)

第9条 落札者は、会長から交付された契約書の案に記名押印の上、落札決定の日から7日以内に会長に提出しなければならない。ただし、会長が事情やむを得ないと認めるときは、この期間を延長することができる。

- 2 落札者は、入札金額の内訳書を速やかに提出しなければならない。
- 3 落札者が第1項に規定する期間内に契約書を提出しないときは、当該落札者を契約の相手方としないことがある。

(異議の申立)

第10条 入札をした者は、入札後この心得、入札の公告、仕様書、契約書（案）等についての不明を理由として異議を申し立てることはできない。

(その他の事項)

第11条 この心得に掲げるほか、入札に必要な事項は別に指示するものとする。

別紙様式第 1 号

入 札 書

令和 年 月 日

一般社団法人全国肉用牛振興基金協会
会 長 森 山 裕 殿

住 所

商号又は名称

代 表 者 氏 名

印

(代理人氏名

印)

¥ _____

ただし、「精液等情報システムの調査等業務」の代金額

上記のとおり、入札公告、入札心得等を承諾の上、入札します。

- [注意]
- 1 提出年月日は必ず記入のこと。
 - 2 金額は円単位とし、アラビア数字をもって明記すること。
 - 3 金額の訂正はしないこと。
 - 4 用紙は、日本工業規格 A 4 判とする。
 - 5 再度入札を考慮して入札書は余分に用意すること。
 - 6 () 内は、代理人が入札するときに使用すること。
この場合、「代表者印」は不要とする。
 - 7 印は外国人又は外国法人にあっては、本人又は代表者（代理人をもって入札に参加する場合には代理人）の署名をもって代えることができる。

- 5

暴力団排除に関する誓約事項

当社（個人である場合は、私、団体である場合は当団体）は、下記1及び2のいずれかにも該当しません。また、将来においても該当することはありません。

この誓約が虚偽であり、又はこの誓約に反したことにより、当方が不利益を被ることとなっても、異議は一切申し立てません。

記

1 契約の相手方として不適当な者

- (1) 法人等（個人、法人又は団体をいう。）の役員等（個人である場合はその者、法人である場合は役員又は支店若しくは営業所（常時契約を締結する事務所をいう。）の代表者、団体である場合は代表者、理事等、その他経営に実質的に関与している者をいう。）が、暴力団（暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第2号に規定する暴力団をいう。以下同じ。）又は暴力団員（同法第2条第6号に規定する暴力団員をいう。以下同じ。）であるとき
- (2) 役員等が自己、自社若しくは第三者の不正の利益を図る目的、又は第三者に損害を加える目的をもって、暴力団又は暴力団員を利用するなどしているとき
- (3) 役員等が、暴力団又は暴力団員に対して、資金等を供給し、又は便宜を供与するなど直接的あるいは積極的に暴力団の維持、運営に協力し、若しくは関与しているとき
- (4) 役員等が、暴力団又は暴力団員であることを知りながらこれを利用するなどしているとき
- (5) 役員等が、暴力団又は暴力団員と社会的に非難されるべき関係を有しているとき

2 契約の相手方として不適当な行為をする者

- (1) 暴力的な要求行為を行う者
- (2) 法的な責任を超えた不当な要求行為を行う者
- (3) 取引に関して脅迫的な言動をし、又は暴力を用いる行為を行う者
- (4) 偽計又は威力を用いて業務を妨害する行為を行う者
- (5) その他前各号に準ずる行為を行う者

上記事項について、入札書の提出をもって誓約いたします。

